

全国で4番目となる東海支部開設！ 東海支部設立記念セミナーを開催



東海支部設立記念セミナーには、東海地区以外からも、多くの栄養経営士や管理栄養士が集まった



設立総会と第1回理事会で、支部役員案や会則案などを審議



支部発足の挨拶をする兼平奈奈東海支部支部長

今、なぜ栄養経営なのか？ チーム医療における管理栄養士の役割を考える

1月28日(日)、日本栄養経営実践協会東海支部は設立総会を開催し、正式に発足した。同支部ではこれを記念し、「今、なぜ栄養経営なのか？」と題したセミナー(会場：日本医療企画中部支社セミナールーム)を開催。約50人の参加者が集い、宮澤靖代表理事による基調講演や懇親会で、支部発足を祝った。

支部を管理栄養士のコミュニティ拠点に！

当日は、セミナーに先立ち、東海支部の設立総会と第1回理事会を開催。支部長に兼平奈奈氏(東海学園大学健康栄養学部管理栄養学科准教授)、副支部長に伊藤正江氏(至学館大学健康科学部栄養科学科准教授)を選出したほか、会則案、2

018年度事業計画案などを審議し、いずれも可決した。これにより、東海支部が正式に発足。4名の理事による運営が始まった。

東海支部設立記念セミナーの冒頭、主催者を代表して兼平東海支部支部長が登壇。挨拶で東海支部について「栄養経営士のスキルアップや、栄養経営士を目指す方々のフォ

ローだけでなく、東海地区の栄養士・管理栄養士の方々の新たなコミュニティの基盤に発展する支部活動を進めていきたい」と運営方針を述べた。また、料理にたとえ「栄養士・管理栄養士が集まって『それぞれの味やコク、深みを持った』東海支部となるように努力していきたい」と抱負を述べた。

アウトカムを出す
栄養サポートとは？

今回のセミナーで

は、第1部、第2部で各1題の講演、第3部で参加者による懇親会を開催。

第1部の基調講演では、日本栄養経営実践協会の宮澤靖代表理事がセミナーテーマである「今、なぜ栄養経営なのか？」と題した講演を行った。講演の冒頭、宮澤代表理事は「4月の診療報酬改定を見据えながらお話をさせていただく」と前置きし、管理栄養士が仕事をやっていく上で、チーム医療が今まで以上に重要な課題になってくると指摘した。これを踏まえ「私たちに課せられた臨床栄養と病院給食の2つの業務を、どうチーム医療の中で行っていくのかを考える必要がある」と強調。従来の医

第3回「全国栄養経営士のつどい」 in 札幌

参加受付中

開催日：3月24日(土) 栄養経営で地域をつなぐ～栄養経営士に求められる新たな役割～

◆全国栄養経営士のつどい

10:30～16:40 (10:00 受付開始)

◆懇親会(参加費:5,000円(税込))

17:00～18:50(予定)

◆事前参加登録料

日本栄養経営実践協会会員 5,000円(税込)

栄養経営士資格認定基礎講習修了者 6,000円(税込)

一般 7,000円(税込)

会場：ACU-A(アスティ45)16階

大研修室1614

(札幌市中央区北4条西5丁目アスティ45 16階)

※懇親会会場は16階 多目的ラウンジ1612となります。

お問い合わせ・
参加申込はウェブから

<https://www.nutrition-management.jp/gathering/>



宮澤靖代表理事



森茂雄氏

師、看護師中心の少数精鋭の医療から、多職種による少数精鋭チーム医療へと変わりつつある中で、管理栄養士の業務も、これまでの厨房での「食事管理」から、「病棟栄養サポート」へと変わり、さらに「患者が早く元気になり、自宅に帰ってもらう」という付加価値を売ることになったと説明。管理栄養士の仕事の場所、内容が大きく変わっていることを理解し、管理栄養士自身も今までの仕事を見直し「厨房の管理から患者の栄養管理へと、業務の中心を変えなければならぬ」と訴えた。

管理栄養士が人の役に立つ3原則

第2部では、JA愛知厚生連稲沢厚生病院

知厚生連稲沢厚生病院栄養科係長の森茂雄氏が登壇。「人の役に立っている栄養サポートのはじめ方」と題する講演を行った。冒頭、森氏は「人の役に立つ栄養サポートとは何でしょうか」と参加者に問いかけた。森氏は「患者本人や家族の意向なども踏まえながら、栄養からできることを行う。栄養に関する知識を得るだけではなく、知識を知恵に変え、何をどうすればよいのか理解し実践することが必要だ」と自身の考えを述べた。

その上で、人の役に立つ栄養サポートの3原則として、①人(患者や利用者)が幸せに

なることを行う、②栄養で改善できることをアプローチする、③知識を知恵にして実践でできることを行う——の3点を挙げた。具体的には、本場にその人に必要なことは何か、最善策を考え、中途半端な医学的知識を持ち出すのではなく、専門とする栄養により改善できることでの確にアプローチすること。また、セミナーや書物で得た知識をそのままにせず、知恵にして実践できることをやってほしいと訴えた。

講演の最後に「人の役に立つこと」と題するビデオを流し、その中で食欲不振・低栄養の患者や末期がんの患者らに対して、多職種と力を合わせて栄養サポートした結果、元気になった、誕生日を祝うことができたなどの事例を音楽に乗せて紹介。「人の役に立つこと、大切なことは患者



宮澤代表理事(前列中央)、兼平支部長(前列右から2番目)らを囲み、和やかな雰囲気で行った懇親会



宮澤代表理事の乾杯の音頭で懇親会スタート!

さんが教えてくれた」と結んだ。

第3部は場所を移し、支部理事、講演者、参加者が出席して懇親会を行った。懇親会は、宮澤代表理事の乾杯の音頭でスタート。地元の東海地区だけでなく、奈良県や長野県などからの参加者も交えて、志を同じくする仲間との交流や講演者との歓談などで大いに盛り上がり、支部の発足を祝った。

第3回「全国栄養経営士のつどい」in札幌 開催間近!

栄養経営士による実践報告から業務改革のヒントを見つけよう!

3月24日(土)に開催される第3回「全国栄養経営士のつどい」in札幌では、3本の講演や、栄養経営士による実践報告等が予定されている。ここでは、実践報告にエントリーした4人の栄養経営士を中心にご紹介する。

◆札幌大会で実践報告を行う栄養経営士たち◆



**栄養サポートチームの運営に
栄養経営の視点を活かした実践を報告**
IMSグループ医療法人財団明理会
東戸塚記念病院栄養科
千葉 枝里子さん

第2回福岡大会に参加した際、栄養経営士による実践報告を聞きました。栄養経営士の方々が、問題解決に向けて自らの行動を起こし、その結果を数値で示して報告しているの聞き、刺激を受けると共に、自身の業務におけるヒントをいただきました。

私は今年度、栄養サポートチームの専従としてチーム運営を担う立場となりました。

業務の選択と集中、コミュニケーションスキルなど、栄養経営の視点がチーム運営における問題解決の手がかりとなったため、具体的な実践内容と結果について報告する予定です。

札幌大会でも、他施設の実践報告と、栄養経営士の新たなつながりをつくれることを楽しみにしています。



**法人内の栄養管理部門統括と
在宅における栄養管理の現状を報告**
社会医療法人慈恵会本部事務局
企画支援部統括栄養管理課長
相馬 梨沙さん

私は、2017年4月より、在宅訪問栄養指導を行いながら、法人内の病院・介護老人保健施設・グループホームにおける栄養管理部門の管理統括を行っております。

施設と病院を行き来する患者様の栄養管理についての連携強化や、統一献立導入による業務内容の見直し・コスト削減など、法人全体で一貫した栄養管理と食事の提供が行えるような組織改革に向けて取り組んでいますので、この1年の活動内容について報告させていただきたいと思います。

また、当地域(北海道洞爺湖町)の在宅における栄養管理の現状についてもご報告できればと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。



**18名の栄養部における教育体制を報告
栄養マネジメントを考えるきっかけに**
医療法人漢仁会手稲漢仁会病院
栄養部部長
田中 智美さん

この度は、地元・札幌での大会で、実践報告を行う機会を与えていただきましたことを、感謝申し上げます。

診療報酬改定においても「栄養」が注目を集めている今、私たち管理栄養士がさらに実力をつけて活躍していくために、部署のマネジメントや院内外における発信力を高める必要があると考えようになりました。

今回は、そのような思いの中で18名体制となった当院の栄養部の教育体制を見直し、教育ラダーを作成して運用を開始しましたので、その内容について報告させていただこうと思います。

完成形にはほど遠いのですが、栄養マネジメントを考えるきっかけになれば幸いです。



**多職種協働で作成した食事記録を報告
食形態等のアドバイスに期待**
中頓別町国民健康保険病院
栄養管理部門責任者
鈴木 恵子さん

見た目と態度は大ベテラン。でも、実は管理栄養士に転職して丸4年です。

入職して初の研修講師が宮澤靖先生でした。ほかの研修との違いにガツンと殴り倒されたような気持ちになると同時に、なんてかっこいい職業なんだと、強い憧れを抱きました。

人口2,000人足らず。冬が1年の4割を占める町で、入院患者はほぼ90歳代です。今回は、このような環境の中で、多職種の協力を得て作成した食事記録を紹介します。一つは患者様の食事の様子やデータ類からまとめ、提案等にも活かしている日々の「個人別記録」。もう一つは退院時に作成している「栄養情報提供書」です。食形態等、ご意見をいただければと期待しています。

悩みながら前進する仲間の発表が明日の活力につながる!

第3回札幌大会では、第2回福岡大会に続き、「栄養経営士による現場からの実践報告」が行われる。全国の栄養経営士が集結する年に1度の大会で、自らの活動成果を報告できる貴重な機会だ。

前回は4人の栄養経営士が、「栄養介入の選択と集中」や「管理栄養士の病棟配置」などをテーマに発表した。

聴講者からは、「実践報告から多くの気づきを得た」との声が多数寄せられたが、登壇した報告者からも、「発表を通じて自分の業務の振り返りができた」「解決に向けて実践されている皆さんの報告を聞くことで、大変心強く、頑張る気力がわいた」との感想があった。

「管理栄養士の未来を共に切り拓いていこう」という意欲あふれた栄養経営士たちが集う本大会。その想いを最も感じられるのが「実践報告」かもしれない。

札幌大会の実践報告には、現在4人の栄養経営士がエントリーしている。どのような発表となるのか。ぜひ、会場に足を運んでいただきたい。

栄養経営士のスキルアップに役立つ講座が続々開講!

「症例から学ぶ栄養管理講座 宮澤SCHOOL」
&
「実践! 模擬NSTカンファレンスセミナー」

苦手分野克服のチャンス!
臨床スキルやプレゼン力を高めよう

栄養経営士は、医療や介護の現場で活躍するニューリーダーを育成するために生まれた資格。資格取得は、栄養分野のエキスパートになるためのスタートラインである。これまで、スキルアップを目指し、地域支部などでさまざまな研究会が開催されてきたが、今回、栄養経営士の苦手分野を克服するのにオススメの2つの講座がスタートするので、ご紹介したい。

一つめの講座は、当協会の宮澤靖代表理事が総合監修と講師を務める「症例から学ぶ栄養管理講座 宮澤SCHOOL」だ。

臨床現場では患者の高齢化が進み、養成校で履修した臨床栄養学の考え方が変化している。

「目の前にいる患者さんの病態が把握できない」「他職種の会話についていけない」などの声も多く聞く。

これは、管理栄養士に臨床の知識がないのではなく、「持っている知識が断片的で、うまくつながっていない」からである。

本講座は、これらの問題点を整理し、持っている知識・技術を活かして臨床活動を行い、成果と実績をもって栄養部門をメジャー

部署にしていけることを目標にした基礎講座である。

「知識の断片をつなげて、病態を総合的に診られるようになるうー」を言葉に、今さら聞けない栄養サポートの基礎から、さまざまな病態への対応のポイントを押さえた実践まで、しっかり学べる内容となっている。

次にご紹介したいのは、「実践! 模擬NSTカンファレンスセミナー」だ。

皆さんは、カンファレンスに出席した際、栄養のプロとして、積極的な発言ができていただろうか? 学会などに足を運び、知識習得に努めているものの、多職種とのカンファレンスでは何も言えずにただ聞いている

だけ……という状況に陥っていないだろうか? 本セミナーは、そんな悩みを抱える管理栄養士の方にオススメです。

医師や看護師、歯科医師が同席する擬似的なNSTカンファレンスを設定し、実際の症例をもとに、参加者が自分で考え、栄養管理計画を立案し、多職種とディスカッションしていく内容だ。

臨床栄養管理の知識だけでなく、プレゼンテーション力やコミュニケーション力、何より物怖じしない度胸を身に付けることができる。

*

臨床スキルやプレゼン力など、多くの管理栄養士が苦手としているテーマに的を絞り、実践的なカリキュラムで即戦力を養う2つのセミナー。新年度を迎えるに当たり、スキルアップを目指し参加してみてはいかがだろうか。

◆実践! 模擬NSTカンファレンスセミナー

第1回 3月11日(日) 13:00~16:30	消化器がん周術期の栄養管理 ファシリテーター 松永裕美子 先生 鶴川サナトリウム病院栄養科係長/ヘルスケア・レストラン栄養企画委員 丸山 道生 先生 田無病院院長・医師 戸丸 悟志 先生 利根中央病院NST専従看護師・看護師
第2回 4月14日(土) 13:00~16:30	摂食嚥下障害における経口摂取への移行 ファシリテーター 上島 順子 先生 NTT東日本関東病院栄養部・摂食嚥下リハビリテーション栄養専門管理栄養士/ヘルスケア・レストラン栄養企画委員 石井 良昌 先生 海老名総合病院歯科口腔外科・歯科医 伊東七奈子 先生 前橋赤十字病院摂食・嚥下障害看護認定看護師・看護師
第3回 5月12日(土) 13:00~16:30	サルコペニアの栄養管理 ファシリテーター 高崎 美幸 先生 鶴巻温泉病院栄養サポート室室長・栄養経営士/ヘルスケア・レストラン栄養企画委員 大塚 健一 先生 日高リハビリテーション病院リハビリテーション科部長・医師 高橋 浩平 先生 田村外科病院リハビリテーション科・理学療法士
第4回 6月3日(日) 13:00~16:30	認知症と栄養ケア ファシリテーター 阿部 咲子 先生 介護老人保健施設スカイ・栄養経営士/ヘルスケア・レストラン栄養企画委員 蓮村友樹久 先生 愛全診療所所長・医師 平田 祐子 先生 老健都筑ハートフルステーション認知症ケア上級専門士・看護師

※講演テーマやタイムスケジュールは変更する場合がございます。

主催：ヘルスケア・レストラン
回数：全4回(1回ずつ参加可能)
受講料：会員:¥9,000/回 一般:¥12,000/回
【4回セット】会員:¥30,000 一般:¥40,000
会場：もとみやビル3階 セミナールーム
(東京都千代田区神田東松下17番地)
お問い合わせ：株式会社日本医療企画セミナー事務局 TEL:03-3256-2885
(担当:平山・原田)

◆症例から学ぶ栄養管理講座 宮澤SCHOOL

第1回 4月21日(土) 13:30~18:30	治療成績向上に貢献できる 栄養部門の構築と運営の仕方 講師：宮澤 靖 先生 一般社団法人日本栄養経営実践協会代表理事 社会医療法人近森会近森病院臨床栄養部部長
第2回 4月22日(日) 9:30~16:00	栄養サポートに使える 検査値と画像所見の基本から応用 講師：宮澤 靖 先生 一般社団法人日本栄養経営実践協会代表理事 社会医療法人近森会近森病院臨床栄養部部長
第3回 5月19日(土) 13:30~18:30	症例から学ぶ 栄養アセスメントの基礎と実践 講師：宮島 功 先生 社会医療法人近森会近森病院臨床栄養部主任
第4回 5月20日(日) 9:30~16:00	症例から学ぶ腎臓病・糖尿病の 病態と栄養サポートの考え方 講師：宮島 功 先生 社会医療法人近森会近森病院臨床栄養部主任
第5回 6月9日(土) 13:30~18:30	病例から学ぶ高齢者の病態と 栄養管理のピットホール 講師：齊藤 大蔵 先生 社会医療法人近森会近森病院臨床栄養部管理栄養士
第6回 6月10日(日) 9:30~16:00	症例から学ぶ脳卒中の病態と 栄養サポートのポイント 講師：齊藤 大蔵 先生 社会医療法人近森会近森病院臨床栄養部管理栄養士

※講演テーマやタイムスケジュールは変更する場合がございます。

総合監修(講師)：宮澤 靖
主催：ヘルスケア・レストラン
回数：全6回(1回ずつ参加可能)
受講料：会員:¥5,000/回 一般:¥7,000/回
【6回セット】会員:¥24,000 一般:¥36,000
会場：もとみやビル3階 セミナールーム
(東京都千代田区神田東松下17番地)
お問い合わせ：株式会社日本医療企画セミナー事務局 TEL:03-3256-2885
(担当:平山・原田)

日本栄養経営実践協会 情報掲示板

セミナー情報

医療・行政連携と減塩で進める 重症化予防セミナー

2016年4月に厚生省が策定した「糖尿病性腎症重症化予防プログラム」は、データヘルスと併せ、行政・保険者と医療者が連携した取り組みで透析予防(3次予防)のアウトカムを出すことを求めています。本セミナーでは、同プログラムを中心にした制度の狙いと、糖尿病重症化予防+減塩に地域ぐるみで取り組み、透析阻止のアウトカムを出している先駆エリアの事例・手法を紹介します。

- 日 程：【東京】4月8日(日)／【大阪】4月22日(日)
- 会 場：【東京】東医健保会館(東京都新宿区)
【大阪】国民會館武藤記念ホール(大阪市中央区)
- 内 容：「国家課題としての糖尿病透析予防と3次予防の減塩～医療計画・データヘルス・糖尿病性腎症重症化予防プログラム～」、「医療・行政・薬局連携で取り組む糖尿病性腎症重症化予防」ほか
- 講 師：【東京】保坂嘉之(保坂内科クリニック院長)ほか
【大阪】平井愛山(日本慢性疾患重症化予防学会代表理事)ほか
- 受講料：無料(事前申込制)
- お問い合わせ：株式会社日本医療企画
TEL:03-3256-2885(担当:平山・原田)

学会情報

第95回日本生理学会大会

参加者が最新の研究成果を発表し議論する場を提供するとともに、現在の生理学研究を多領域、多階層で深く俯瞰する機会を提供し、未来の生理学および生命科学へと飛躍する路^{おもむ}るべの大会となることを目的に開催。参加者による一般演題発表(口述およびポスター発表)に加え、国内外の著名な科学者を招聘した講演を予定しています。生理学の最先端研究成果を広く社会に還元するアウトリーチ活動の一環として市民公開講座も併催。

- 日 時：3月28日(水)～30日(金)
- テーマ：「遍くめぐる生理学の路～生命科学の飛躍のために～」
- 大会長：徳田雅明(香川大学医学部細胞情報生理学)、平野勝也(香川大学医学部自律機能生理学)
- シンポジウム：「希少糖D-アルロースの魅力:心も体も癒す糖」矢田俊彦(自治医科大学医学部生理学)、徳田雅明(香川大学医学部細胞情報生理学)／「食^くべること・動^うくことが人生を変える」山内克哉(遠州病院リハビリテーション科)、上田陽一(産業医科大学医学部第1生理学)ほか
- 会 場：サンポートホール高松・高松シンボルタワー(香川県高松市)
- H P：http://www.med.kagawa-u.ac.jp/psj2018/index.html

協会事務局より

2018年4月期限の会員の皆さまへ 年会費納入のご案内

本年4月に年会費の有効期限を迎える会員の皆さまに、当協会より、年会費納入のご案内を郵送しております。ご確認、どうぞよろしくお願い申し上げます。

- 対象者：有効期限が「2018年4月19日」の個人正会員、栄養経営サポーター
- 年会費：個人正会員10,000円、栄養経営サポーター8,000円
- 支払期限：3月19日までに指定口座へ振込
- お問い合わせ：一般社団法人日本栄養経営実践協会
TEL:03-5289-7021

北海道支部

“惑星直列”観察ツアー

- 日 時：3月23日(金)18:30～20:00
※第1～5回は終了
- 講 師：神内秀之介(NB lab代表)
- 会 場：日本医療企画北海道支社セミナールーム(札幌市中央区)
- 参加費：栄養経営士1,000円(税込)、一般1,500円(税込)
- お問い合わせ：日本栄養経営実践協会北海道支部
TEL:011-223-5125(担当:緑川)

「栄養経営士」資格認定基礎講習

資格認定試験の受験前に、「栄養経営」という考え方を理解するために受講いただく講習です。本講習の受講が、栄養経営士資格認定試験の受験要件となります。

DVD視聴による受講も可能！
☆3枚組・特典映像付き☆

栄養経営士も会員価格で聴講できます！

【こんな方におすすめ】

- ・DVD受講だったので、会場受講をしてみたい
- ・栄養経営士の方向性を、改めて確認したい
- ・栄養経営士として、もう一度、話を聞きたい ……

講習内容

オリエンテーション・
「栄養経営士」に必要な能力について

1. 院内・施設内における栄養部門の現状分析
2. 目標設定能力と達成に向けた実践的アプローチ
3. 業務の質を高めるためのアウトカム分析
4. 「栄養経営士」に求められる教育と人事能力
5. 適材適所の組織マネジメント
6. 病能の把握能力

- 講 師：宮澤 靖 代表理事ほか
- 受講料(会場、DVDとも)：8,000円(税込)
- 時 間：10:00～17:00(予定)

2018年度 日程決定！

会 場	日 程
東 京	4 月 1 日(日)
大 阪	8 月 5 日(日)
仙 台	8 月18日(土)
東 京	8 月19日(日)
福 岡	9 月 2 日(日)